

第3章 重点プロジェクト

望ましい環境像及び目標の達成をめざしていくため、次の重点プロジェクトに取り組んでいます。重点プロジェクトについては、以下の内容を考慮し、設定しています。

- (1) 環境課題の中で緊急かつ重要な課題であり、優先的に取り組む必要があるもの
- (2) 市民・事業者との協働の取組を促進させるもの
- (3) 環境に配慮した地域でのまちづくりをすすめ、先導的な役割を果たすもの

プロジェクト	取組内容
地球温暖化対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 低炭素まちづくりの検討及び推進 ② 公共施設における率先実行（節エネルギー、省エネルギー、低炭素エネルギー） ③ 廃棄物処理関連施設包括的管理運営事業 ④ 再生可能エネルギーの導入推進
ヒートアイランド対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 建築物・道路・駐車場の高温抑制化（高反射性塗装、透水性・保水性・遮熱性舗装など） ② 公園緑地・街路樹の整備、緑化の推進（屋上・壁面緑化、みどりのカーテンなど） ③ 水辺空間の保全、親水空間の創出 ④ 建築物の省エネルギー化、空調排熱の潜熱化 ⑤ ドライ型ミストの設置 ⑥ ヒートアイランド現象のモニタリング
環境パートナーシップ（連携・協働）の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 活動や交流・連携の場を備えたプラットフォーム組織の形成・拡充の支援 ② 積極的な情報提供、相互情報の共有・活用
学校での環境教育（エコスクール）の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境教育等促進法に基づく環境教育の充実 ② 太陽光発電、太陽熱利用など再生可能エネルギーの導入 ③ みどりのカーテン、ビオトープ、ミニ水田などの実施 ④ 校内物品のリサイクル、生ごみ等の減量化・堆肥化 ⑤ 環境学習副読本等の活用 ⑥ 環境教育の場の充実
地域における環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境教育等促進法に基づく協働取組などの推進 ② 効果的なイベント（講習会・発表会、展示など）の開催 ③ 講演や講座などの学習機会の充実 ④ 地域において環境保全活動を担う人材の育成 ⑤ 学習プログラムや教材の研究・開発

施策

■ アジェンダ 21 すいた

本市は、市民・事業者・行政のパートナーシップにより、温暖化などの地球規模の環境問題に対する地域での具体的な取組をすすめるため、平成18年(2006年)5月に三者協働組織「アジェンダ21すいた」を設立しました。アジェンダ21すいたでは、エネルギー、資源、自然等の部会を設置し第2次環境基本計画（改訂版）の実践を始め、様々な環境保全活動に取り組んで

います。令和元年（2019年）7月現在で、個人会員は52人、団体会員は16団体です。

平成30年度(2018年度)には、地球温暖化防止やSDGsに関する啓発をエキスポシティで行いました。また、同年9月には、太陽光発電を活用した、CO₂排出ほぼゼロのイベントとして「十五夜ムーンライトコンサート」を開催し、約250名の参加者がありました。

■ 大学・研究機関との連携

業務部門からのCO₂排出量を削減する取組として、市内に6つある大学・研究機関（大阪学院大学・大阪大学・関西大学・千里金蘭大学・大和大学・国立民族学博物館）と本市は、地域連携の一環による情報交換の場として「省エネルギーワーキンググループ」を設置しています。各大学・研究機関は定期的に取り組の報告を行い、知恵を共有することで一層の省エネルギーを進めています。

大阪大学環境イノベーションデザインセンター（CEIDS）と本市は、平成25年（2013年）に連携研究・教育に関する確認書を交わし、環境イノベ

ーションやフューチャー・デザインについての研究教育交流を進めてきました。平成28年（2016年）4月には、CEIDSにかわり新たに大阪大学大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター（COiRE）が発足したため、COiREと本市は引き続き持続可能な社会の構築に向けて連携をすすめていきます。平成31年（2019年）3月から令和元年（2019年）8月までの間、現在策定作業中の第3次環境基本計画にも関わるテーマ（エネルギー分野等）を題材とした、市民参加型のワークショップを実施しました。

■ 学校における環境教育・エコスクール

本市は、省資源、省エネルギー、リサイクル活動など持続可能な社会についての理解を深めるため、環境教育や「エコスクール活動」を進めています。

「環境学習発表会」において学習成果を発表し、学校間の交流を図っています。また、今日の子ども

たちに不足している自然体験を補うため、学校ビオトープや緑のカーテンの取組を行うとともに、農業委員会やNPO団体等と連携し農業体験学習を推進しています。

■ すいた環境サポーター養成講座

本市では、平成14年（2002年）11月に満55歳以上の市民を対象に、小中学校等において環境教育をサポートしたり、地域において環境保全活動を担う人材の育成を目的として、全国初の取組である「すいたシニア環境大学」を開校しました。

その卒業生は、平成26年度（2014年度）までの累計で308人となり、「環境（エコ）の語り部」として、地域・NPOで活躍しています。

平成27年度（2015年度）からは、「すいた環境サポーター養成講座」として、新たに開催していま

す。シニア世代のみならず、18歳以上と対象年齢をひろげ幅広い世代が参加できるよう開催日を設定し、一講座のみの参加も可能なカリキュラムにしています。

受講者一人ひとりが、受講後、それぞれの家庭や地域において環境教育を実践するとともに、各種イベントやボランティアの担い手として参画する人材を育成することを目的として、平成30年度（2018年度）は15名が修了しました。

■ すいた環境教育フェスタ

本市・市民団体・事業者など16団体からなる運営委員会により、「すいた環境教育フェスタ」を平成31年（2019年）2月2日に、吹田市資源リサイクルセンター（くるくるプラザ）にて開催しました。大学、市民団体、事業者等による環境学習や環境保全活動の発表、展示やワークショップ、クイズラ

リー、さらにはリユース服やリユース図書の無料配布など、様々な催しを行い、856人の参加者がありました。

（公財）千里リサイクルプラザ主催の環境学習発表会も同時開催されました。

※地球温暖化対策、ヒートアイランド対策の推進については、第2章の第1節及び第3節に記載しています。